

あいの風とやま鉄道の利用促進の取組みについて

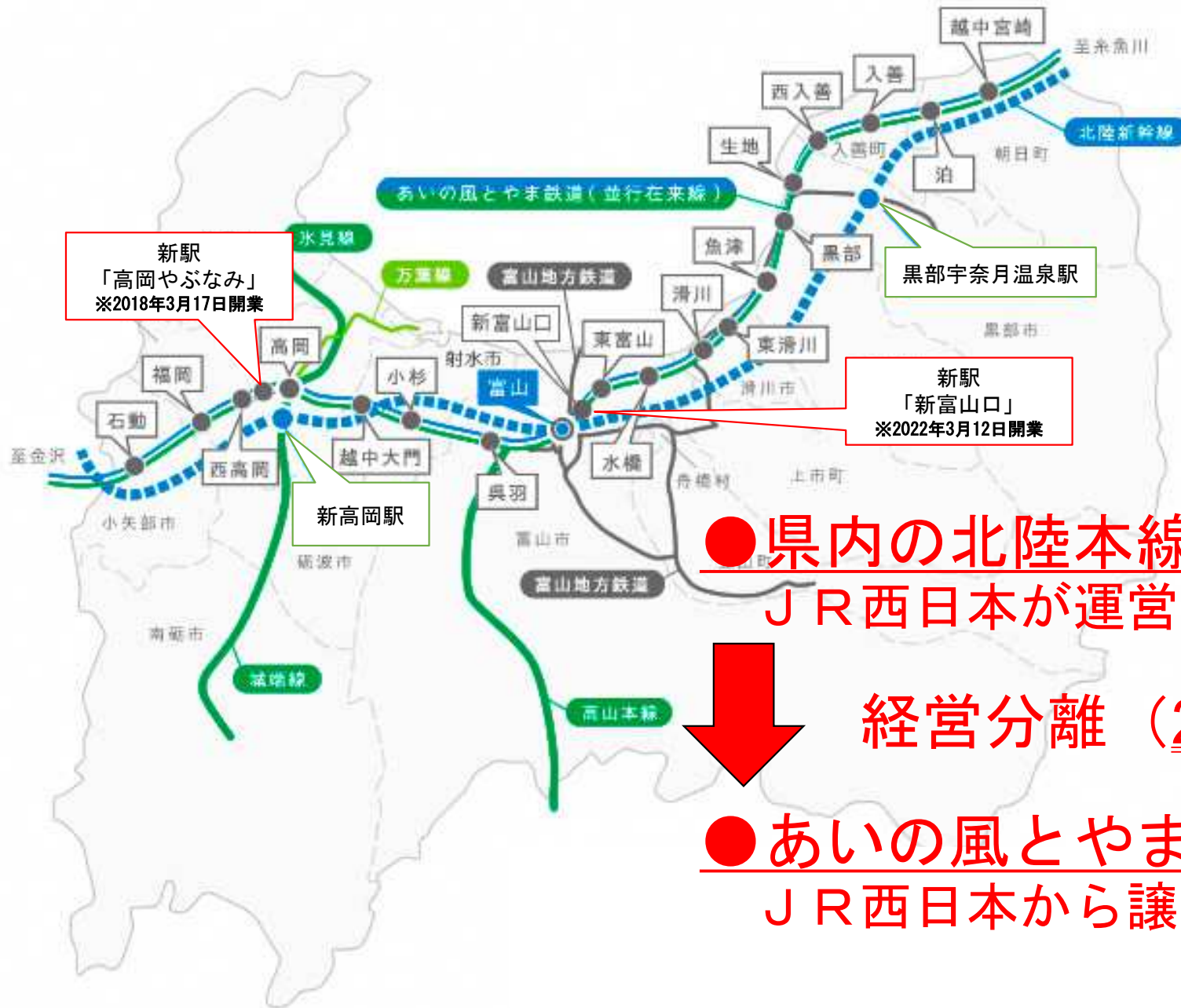


あいの風とやま鉄道株式会社

■会社概要

設立	2012年（平成24年）7月24日
本社位置	富山市明輪町1番50号
資本金	40億円 出資比率：県63%、市町村27%、民間10% 第三セクター方式
営業キロ	100.1キロ
管理駅数	21駅（石動駅～越中宮崎駅）
社員数	399人（2024年12月1日現在）うちプロパー社員285人

■あいの風とやま鉄道線(並行在来線)



●県内の北陸本線 (並行在来線)
JR西日本が運営



経営分離 (2015年3月14日)

●あいの風とやま鉄道線
JR西日本から譲渡を受け当社が運営

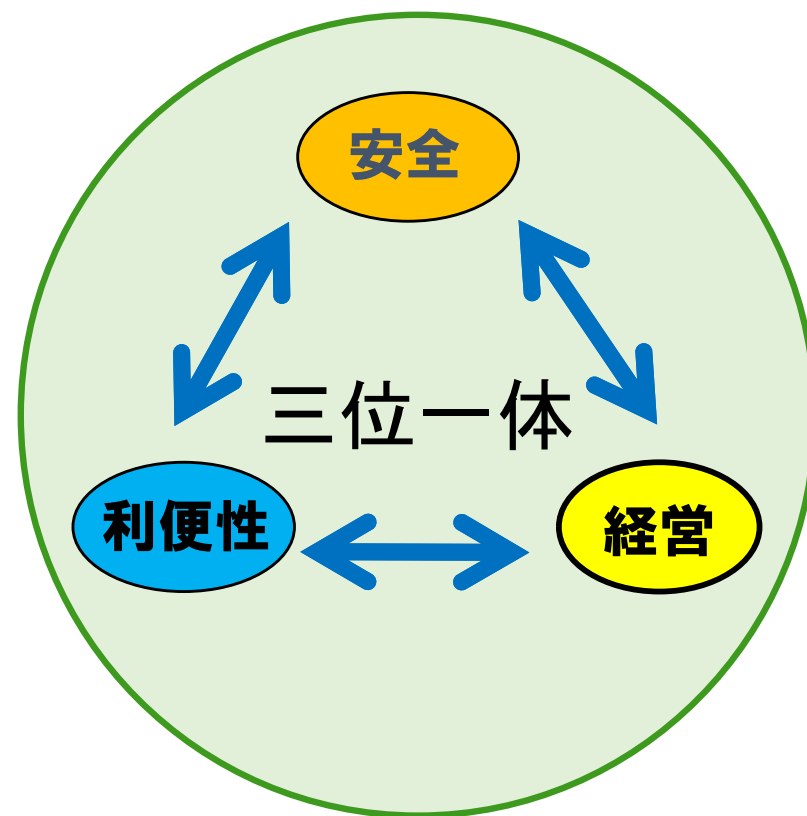
■あいの風とやま鉄道 経営理念

- ① 鉄道経営の基本である安全性の確保を最優先とし、多くの県民の身近な生活路線として、利用実態に即した利便性の確保を図る。
- ② 組織を簡素化して、業務の効率化を図り、健全経営を目指す。
- ③ 県内公共交通機関のネットワークの結節拠点としての活用を図り、地域振興と住民福祉の向上を目指す。

<考え方>

当社線は、県内を東西に走る幹線鉄道であり、JR各線、富山地方鉄道線のほか、市内電車、万葉線、路線バス等が接続するなど、県内の公共交通機関のネットワークの結節拠点として、また、多くの県民の日常生活を支える交通機関として重要な役割を果たしています。

こうしたことから、当社線の運営にあたっては、将来にわたる県民の通勤、通学等の交通手段の確保を基本として取り組んでおります。

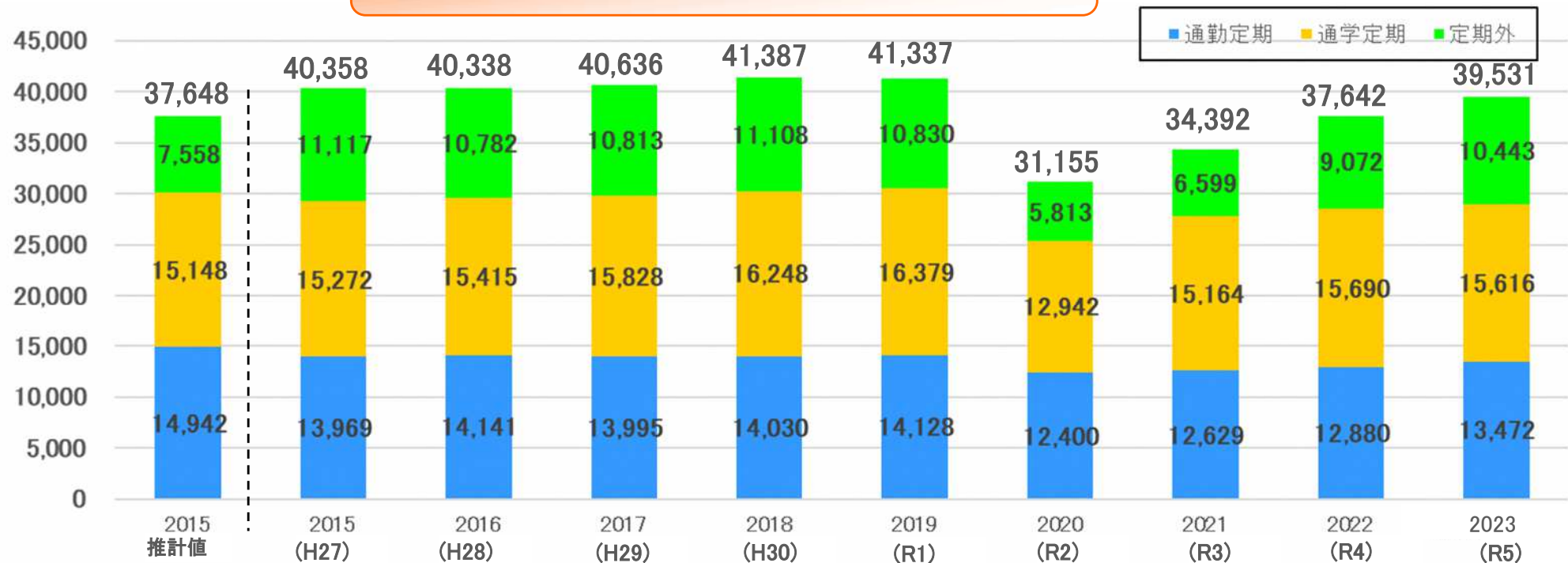


あいの風とやま鉄道 これまでの取組み

■ご利用の状況

- 2015年（平成27年）3月14日の開業以降、重大な鉄道事故や長期にわたっての運休を発生させないなど安全・安心な運行に努めるとともに、適切な運行ダイヤの設定や利用促進の取組みなどにより当初の計画を上回る利用をいただきました。コロナによる減少は回復を示しています。

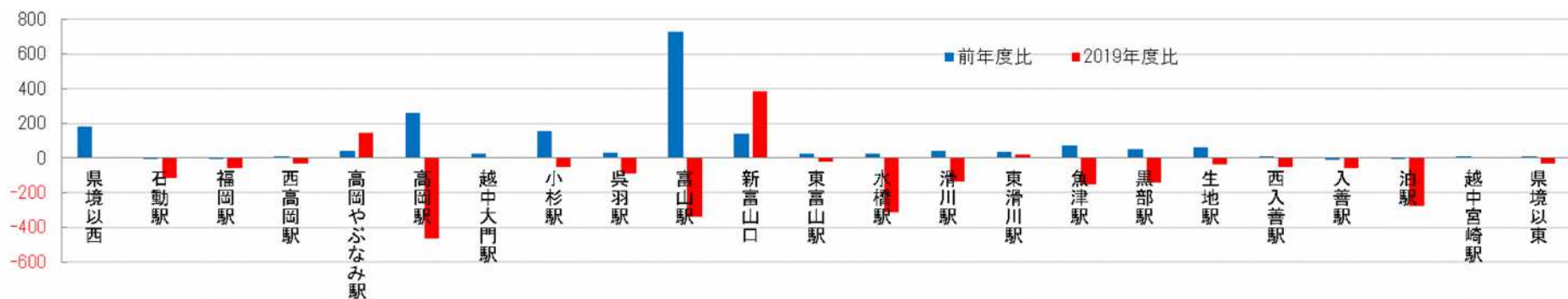
1日当たり利用者数の推移



2023年度の利用状況

区分	2023	2022	2019	前年度比	2019年度比
利用者数 (千人)	14,468	13,739	15,129	5.3%	-4.4%
1日あたり (人/日)	39,531	37,641	41,337	5.0%	-4.4%
定期利用者	29,088	28,569	30,506	1.8%	-4.6%
通勤	13,472	12,880	14,128	4.6%	-4.6%
通学	15,616	15,690	16,379	-0.5%	-4.7%
定期外利用者	10,443	9,072	10,830	15.1%	-3.6%
乗車券類	5,922	5,452	7,278	8.6%	-18.6%
I Cカード	4,521	3,620	3,553	24.9%	27.2%

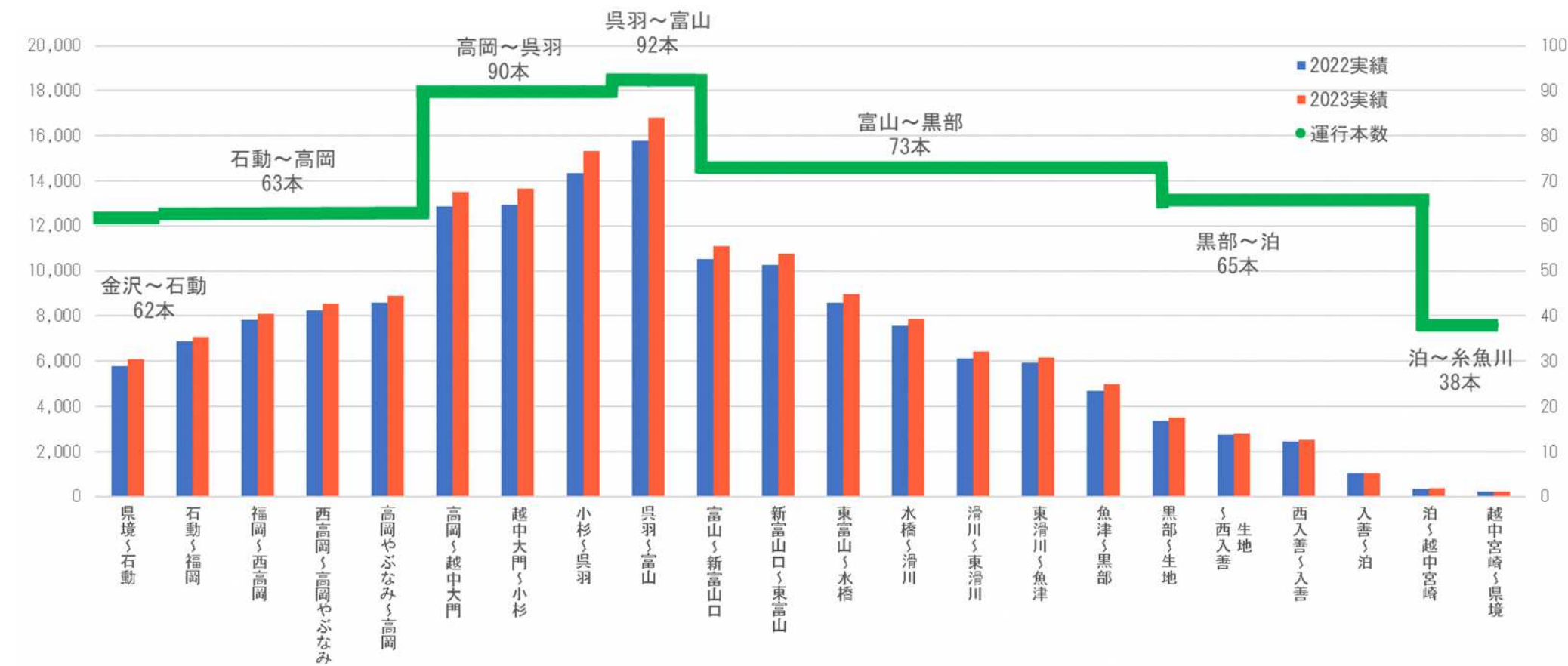
駅別の乗車人員



	県境以西	石動駅	福岡駅	西高岡駅	高岡やぶなみ駅	高岡駅	越中大門駅	小杉駅	呉羽駅	富山駅	新富山口	東富山駅	水橋駅	滑川駅	東滑川駅	魚津駅	黒部駅	生地駅	西入善駅	入善駅	泊駅	越中宮崎駅	県境以東	合計
2023	3,188	1,458	932	562	546	5,979	1,034	3,178	1,586	11,932	385	1,438	676	1,308	210	1,856	1,196	447	162	850	414	83	118	39,531
2022	3,008	1,462	939	552	507	5,721	1,010	3,020	1,556	11,201	243	1,410	650	1,265	174	1,784	1,142	383	154	863	420	72	107	37,641
2019	3,183	1,571	991	593	399	6,441	1,031	3,228	1,676	12,271	-	1,461	987	1,446	188	2,008	1,337	486	212	906	689	83	150	41,337
前年度比	180	-4	-7	10	39	258	24	158	30	731	142	28	26	43	36	72	54	64	8	-13	-6	11	11	1,890
2019年度比	5	-113	-59	-31	147	-462	3	-50	-90	-339	385	-23	-311	-138	22	-152	-141	-39	-50	-56	-275	0	-32	-1,807

■ 1日あたり駅間通過人員

R 4（2022）実績とR 5（2023）実績との比較



	県境～石動	石動～福岡	福岡～西高岡	西高岡～高岡やぶなみ	高岡やぶなみ～高岡	高岡～越中大門	越中大門～小杉	小杉～呉羽	呉羽～富山	富山～新富山口	新富山口～東富山	東富山～水橋	水橋～滑川	滑川～東滑川	東滑川～魚津	魚津～黒部	黒部～生地	生地～西入善	西入善～入善	入善～泊	泊～越中宮崎	越中宮崎～県境	輸送密度
2022実績	5,766	6,871	7,813	8,246	8,579	12,847	12,957	14,340	15,786	10,527	10,264	8,583	7,544	6,131	5,926	4,701	3,346	2,737	2,468	1,045	333	209	7,013
2023実績	6,070	7,069	8,081	8,542	8,905	13,512	13,663	15,322	16,789	11,096	10,733	8,947	7,859	6,435	6,175	4,973	3,498	2,790	2,517	1,066	369	225	7,361

■ダイヤ編成(運行本数)の状況

- 開業に当たっては、運行本数を増加させるとともに、毎年のダイヤ編成では、限られた車両を効率的に運用し、増車等や他の交通機関との乗継改善に努めています。

- ・ 開業前より運行本数を増加
- ・ 運行間隔が概ね1時間を超えないように見直し
- ・ 他交通機関(新幹線、高山本線、氷見線、城端線)との乗継を改善

- 2024春ダイヤ改正で初めてパターンダイヤを導入

表 運行本数の推移

区間	開業前	開業時	2023.3 ダイヤ改正時	(本数) 開業前との増減
金沢～高岡	57	62 (5)	63 (5)	6
高岡～富山	77	84 (5)	92 (5)	15
富山～黒部	62	68 (6)	75 (5)	13
黒部～泊	52	60 (6)	68 (5)	16
泊～糸魚川	38	38	38	0

※平日の本数(あいの風ライナー含む()はライナー本数)

※金沢～高岡間には、石動～高岡間1本を含む

新型車両(521系) 22編成



- 最高速度120km
- 2両／編成
- 定員約250名
- ワンマン対応

日中の時間帯
ワンマン運転

旧型車両(413系) 1編成 ※観光列車を除く



- 最高速度110km
- 3両／編成
- 定員約360名
- ワンマン未対応

順次新型車両に更新
(2017～2022)

■パターンダイヤの導入について

- パターンダイヤは利用者にとって分かりやすく、利便性がさらに高まる。
- 2024年ダイヤ改正：高岡－富山間で日中時間帯において初導入。
- 2025年ダイヤ改正：富山－泊間で日中時間帯において拡大。

■パターンダイヤ導入のための主な課題

- ・ダイヤのパターン化に伴い運行本数の増が必要となれば、それに応じた乗務員数の確保
- ・新幹線や在来線など他の路線との時刻調整

<参考 新田知事コメント(2022.12.14商工会連合会要望) 北日本新聞より>

- ・全線で難しくても、需要が多い富山－高岡間など一部ではできる。
- ・昼や夜遅くの導入が現実的、(朝、夕の時間帯での導入も)利用者のためにも何か方法がないか議論したい。

■朝夕の通勤・通学時間帯でのパターンダイヤ導入は、当面は見送る

- ・利用者が少しでも早く通勤・通学先に着きたい朝の時間帯は、他路線との接続を最優先にする必要がある
- ・駅によっては学生等利用者が非常に多い場合があり、駅ごとに停車時間が異なるため、パターン化が難しい

■ 安全・安心に向けた取り組み

□ 安全・安心に対する取り組みを進め、開業以降、重大な鉄道事故や長期にわたっての運休は発生していません。

- ・ 新旅客システムの整備、列車位置情報サービス「あいつレ」導入
- ・ 自然災害に備えた斜面保全・水路等改良工事
- ・ 降雪に備え、新型投排雪保守用車両の導入
- ・ 踏切改良による安全な通行の確保
- ・ VR等を活用した安全研修による技能向上
- ・ 災害時や異常時での多言語案内放送のための装置整備（車内・管理駅等）
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み

利用者への情報提供の充実（H29.4～）

◇新旅客案内システム（全21駅）

- ・ 改札口付近に「案内モニター」を設置し、方面別の先発・次発列車、遅れ時分、乗車位置等を表示
- ・ 放送設備を更新し、予告放送、接近放送等を日本語と英語で実施



◇列車現在位置情報サービス

- ・ パソコン、スマートフォン等から、列車の現在位置や遅れ時分等がリアルタイムにわかるサービス「(愛称)あいつレ」を開始
- ・ 従来、駅で発行していた遅延証明書が「あいつレ」画面から取得可能

あいつレ ※最大アクセス件数 H30.2.6（大雪）
52,522件/日



感染症対策

- ・ 車両における換気の励行
- ・ 利用者が手指消毒できるよう駅頭での消毒液の設置
- ・ 車両内を定期的に消毒剤で清掃
- ・ 車両の手すり・つり革等の抗菌・抗ウイルス処理を実施



- ・ 社員に対する感染予防対策や健康管理の徹底 など

■観光列車の運行

(1) 概要・コンセプト等

県内外からの観光需要を取り込んで利用を促進を図るため、立山連峰から富山湾までの高低差4,000mがテーマのダイニング列車を 2019年4月6日から運行。



(2) ネーミング

「一万三千尺物語」(英語名:「The Story of 13000 feet」)

(標高3,000mの立山連峰から深さ1,000mに至る富山湾の高低差4,000mを尺で表現)



オレンジ色の朝日によって色づく立山と富山湾をイメージした外装



ひみ里山杉を随所に使用。シートは富山湾 & 立山の青と山雪の白をイメージ



市町村の特産品展示
・紹介コーナー



住民の方によるお手振り

(3) 運行概要

北陸デスティネーションキャンペーンの一環として、北陸三県の横断運行を実施。

2025年度には料理やサービスの内容を変更予定。

①運行ルート

<1号> 富山湾鮭コース

富山(12:18)⇒泊(折り返し、停車駅 13:08～13:23)⇒魚津(停車駅 13:45～14:02)⇒富山(14:26)

<2号> 越中懐石コース

富山(16:34)⇒黒部(折り返し、停車駅 17:07～17:22)⇒高岡(折り返し、停車駅 18:12～18:30)⇒富山(18:50)

② 運行計画 2024年度:100日間(土、日、祝日、夏休み等)、187本運行予定

③ 料 金 大人16,500円 小人8,000円(税込)

④ 食事・サービス等



1号は車内で握りたてのオリジナルの富山湾鮭(旬の地魚8貫)を提供

2号は富山の旬の山海の食材を活用した富山らしい和風創作料理を提供



デザートとして、一万三千尺物語オリジナルデザインの
上生菓子(引網香月堂)

- ・車内販売用の、地酒、地ビール、地元産ワイン等のドリンクやオリジナルのお土産品を充実
- ・社員やボランティアによる停車駅等でのお手振りや高岡駅での万葉衣装を着用してのお出迎えを実施

■ 車両・駅施設に関する取り組み

- バリアフリーや再生可能エネルギー利用に対応した新型車両を導入するとともに、旧型車両の一部を観光列車・イベント列車に改装。
- 沿線市町と連携して駅のスペースを利活用した整備を行うとともに、P&R（パークアンドライド）駐車場の整備や、全ての駅への自動券売機の設置など、駅の賑わいづくりや利用しやすい環境整備に取り組んでいる。

- ・新型車両を新たに6編成導入（2017、2019、2020、2021、2022年度）
- ・旧型車両を観光列車「一万三千尺物語」に改装して活用、沿線住民・社員によるお手振り、英語版予約システムの導入
北陸DCに向け、観光列車を北陸三県で共同運行を実施
- ・イベント列車「とやま絵巻」によるスイーツや地酒など企画列車の運行
- ・サイクルレインの運行
- ・富山駅高架化＝待合室・忘れ物センター・商業施設の運用開始
- ・沿線市町と連携した駅舎の利活用
（石動駅新駅舎・自由通路整備、小杉駅鰻絵看板設置、越中宮崎待合室等の整備）
- ・当社所有の全トイレの洋式化
- ・自動券売機の全駅設置、券売機へのIC機能追加
- ・P&R用駐車場の整備 〈新設〉入善・泊 〈拡張〉呉羽・東富山・滑川・黒部



■ 利便性の向上・利用の促進の取組み

- ❑ 交通ICカードの導入や、沿線市町のイベント・プロスポーツチームとのタイアップ、休日等にご利用できる企画きっぷの発売など、利便性の向上と県内の交流促進を図っています。また、高齢化の進展を踏まえ、運転免許証返納者の方への割引乗車券の発売も行っています。
- ❑ 自治体のまちづくりや駅周辺の開発などを踏まえ、新駅・改札口の整備を進め、利用者の増加や地域の活性化を図っています。

- ・ICカード「ICOCA」導入、オリジナルデザイン「Ainokaze ICOCA」発売
- ・企画きっぷの発売
(1日フリーきっぷ、中学生往復半額おデーパス、フライデーPM往復割引きっぷ等)
- ・運転免許証返納者割引乗車券の発売
- ・JRきっぷの発売
- ・県内プロスポーツチームとのタイアップ
- ・富山駅高架下で飲食店舗とコンビニエンスストアが開業
- ・「高岡やぶなみ駅」の開業(2018.3)、東富山駅東口改札の新設(2021.3)、
「新富山口駅」の開業(2022.3)、呉羽駅北口改札の新設(2024.3)
- ・「My route」アプリによるデジタル乗車券(1日フリーきっぷ)の発売(2021.4)、
「tabiwa(タビワ)byWESTER」アプリによるデジタル乗車券の発売(2022.11～)



富山駅を活用した地域活性化

- 富山の魅力を表現した明るく温かみのある空間である富山駅で、観光客や県民などの利用者をお出迎え
- 連続立体交差事業の駅高架化で生じた高架下を活用した利用者の利便性と地域の活性化に資する商業施設開発を推進

富山の魅力でお出迎え(富山駅舎)

○駅コンコースの柱に、富山らしいコンテンツをモチーフとした装飾



○待合室を新たに設置

- 内観は、ひみ里山杉を利用した木目調をベースに全体的に落ち着いた仕上がり
- 出入口のガラス壁には、蛭谷和紙の継承者川原隆邦氏による、富山湾、立山連峰、風をモチーフとしてデザインした和紙を装飾
- フリーWi-Fi設置



○立山連峰の写真にてお出迎え

- 中2階踊り場に、天気の良い日でも市内からの眺望を楽しんでいただけるよう、立山連峰の写真を掲示
- 県産材の杉を利用したベンチ2台を設置



富山駅高架下での商業施設の開発

2020年6月1日全面開業！

のれん横丁【東エリア】

富山湾の海鮮料理、富山地元の人気店など「富山らしい食」を楽しめる飲食ゾーン(6店舗)



EATS de Meets【西エリア】

県民から旅行者まで、朝食から電車の待ち時間まで幅広いシーンで利用できるカジュアルな飲食ゾーン(4店舗)



コンビニエンスストア【中央エリア】

駅改札口に隣接する利便性を活かし利用者にご利用できるゾーン、富山のお土産も販売



■ 富山市明輪町地内(本社西側部)の開発

本社西側の旧北陸本線敷地等について、周辺道路が整備され、周辺には富山駅をはじめ大規模商業施設、文教施設、公園などが配置、今後も歩行者等の流動の増加が見込まれることから、商業店舗など富山駅周辺エリアの賑わいづくりに資する開発を進めている(2024年4月26日開業)。

◇開発エリア 富山市明輪町地内

約2,823㎡(旧北陸本線鉄道敷地 約2,246㎡+高架下敷地 約577㎡)

◇開発事業者 富山ターミナルビル株式会社

(MAROOT、きときと市場とやマルシェ、マリエとやまを運営)

◇主要用途 商業施設、平面駐車場

スポーツ
バイクブランド
「GIANT」が
出店

【各エリア平面図】



◇開発コンセプト

・富山の人々の生活において、便利で気軽に立ち寄ることができ、各々思いおもいの時間を過ごすことが出来るライフサポート型施設と位置付け

交通ICカードの導入

J R西日本の協力・支援を得て、
I C O C A 導入



当社オリジナルデザイン
I C O C A 発売！！

○利用エリア

あいの風とやま鉄道エリア内（石動駅～越中宮崎駅の全21駅）

※ICOCAサービスエリアの拡大（H29.4.15～）
IRいしかわ鉄道、JR管内（大聖寺～金沢、新高岡～高岡）

※利用できない路線＝他社線（えちごトキめき鉄道）
J R支線（城端線（二塚以南）、氷見線、高山本線）
ecomyca/passca（地鉄線、市内軌道線、バス）

○導入スケジュール

〔ステップⅠ〕 2015年3月26日 サービス開始

I C（S F）カードが利用可能（普通きっぷのこと）

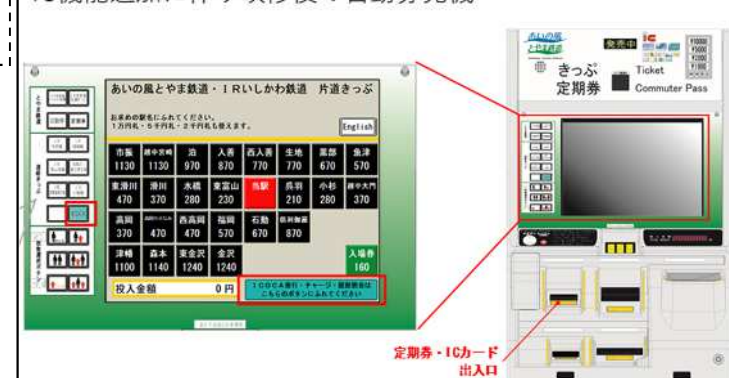
〔ステップⅡ〕 2016年2月27日 I C 定期券の利用開始

○販売枚数 ICOCA(JRデザイン) 7,000枚(2015.3.21～2016.2.26)

あいの風ICOCA 96,037枚(2016.2.27～2024.11.30現在)

○利用状況 2023: 4,404件 2022: 3,619件 2021: 2,467件 2020: 2,032件 2019: 3,553件 2018: 3,156件
(1日あたり) 2017: 2,692件 2016: 1,688件 2015: 1,289件

IC機能追加に伴う改修後の自動券売機



◎ 無人駅を含めた全21駅に自動券売機を設置済み。

2020年10月1日からは、I C機能を追加しさらに利便性が向上。

沿線市町イベントタイアップきっぷの発売

- 沿線市町のイベントとタイアップした企画きっぷの発売により、
県内の東西交流を促進するとともに、当社の利用者の増加を図る。

2024年度 沿線市町イベントタイアップきっぷの概要

駅名	イベント名称	開催時期	開催場所	駅からの距離
泊駅(朝日町)	あさひ舟川 春の四重奏	3,4月	舟川ベリ	シャトルバス15分
高岡駅(高岡市)	高岡御車山祭	5月	高岡市中心市街地	徒歩10分
滑川駅(滑川市)	ふるさと龍宮まつり	7月	ほたるいかミュージアム周辺	徒歩8分
魚津駅(魚津市)	じゃんとこい魚津まつり	8月	諏訪神社、海の駅蜃気楼等	シャトルバス10分
福岡駅(高岡市)	福岡町つくりもんまつり	9月	福岡町中心市街地一円	徒歩1分
石動駅(小矢部市)	メルヘンおやべ源平火牛まつり	9月	石動市街地	徒歩15分
入善駅(入善町)	にゅうぜん商工フェアまつりんぴく (にゅうぜんカレーまつり)	10月	入善まちなか交流施設周辺	徒歩3分
高岡駅(高岡市)	日本海高岡なべ祭り	1月	高岡市中心市街地	駅前0分
入善駅(入善町)	入善ラーメンまつり	2月	入善まちなか交流施設周辺	徒歩3分

- 商品内容: 往復1,000円の割引きっぷ (発売はイベントの概ね1箇月前から)
イベントタイアップきっぷの復路券提示でイベント主催者から特典あり
- 区 間: あいの風とやま鉄道線内各駅からイベント最寄り駅(往復運賃1,000円超の区間が対象)
- 利用期間: イベント開催日

■企画きっぷの発売、イベント列車の運行

企画きっぷ等

- ・ **1日フリーきっぷ**（デジタルきっぷでも発売）
当社区間（石動～越中宮崎間）… 大人1,500円 小人750円
- ・ **あいの風・IR 1日フリーきっぷ**（デジタルきっぷでも発売）
金沢～越中宮崎間 … 大人2,000円 小人1,000円
- ・ **フライデーPM往復割引きっぷ** … 金曜日午後に利用できる往復割引きっぷ
- ・ **中学生往復半額ホリデーパス** … 中学生の方は生徒手帳提示で往復運賃が半額
- ・ **とやま1日乗り放題きっぷ（中央エリア）**（デジタルきっぷでも発売）
当社は高岡～富山間で使用可 … 大人1,000円 小人500円
- ・ **運転免許証返納者割引乗車券**
運転免許証を自主返納された方は運転経歴証明書提示で普通運賃が半額
- ・ **あいの風・IR・ハピライン連携 北陸3県2Dayパス**（デジタルきっぷのみ）
あいの風とやま鉄道、IRいしかわ鉄道、ハピラインふくいの全区間が2日間乗り放題

イベント列車等

- ・ **サイクルトレイン** … 列車を活用したサイクリングイベントを実施⇒2021年から定期運行開始
- ・ **ワイン列車(2018)** … ソムリエと語りながら厳選ワインを満喫
- ・ **スイーツ列車(2019)** … パティシエとともにスイーツを味わう
- ・ **ビール列車(2019)** … 樽生ビールを車内飲み放題
- ・ **地酒列車(2024)** … 富山・石川の地酒と地元食材の軽食をガイドの解説付きで提供

■ 新駅の設置、改札口・エレベーターの新設

新駅の設置

○基本的な考え方

当社線は県の東西をつなぐ幹線鉄道として、駅周辺の定住人口、交流人口の増加を図り、鉄道の利用増と地域振興を目指すことが大事。

このため新駅設置については、鉄道事業者としては利用増⇒収入改善等の効果が、地元市町村としては地域のまちづくりの観点からの意義が期待される場合において、関係者と十分な意思疎通を図りながら検討。

高岡ー西高岡間

- ・ 駅名を「高岡やぶなみ駅」に決定（2017.2）
- ・ 2018年3月17日開業

改札口の新設等

- ・ 東富山駅東口改札
2021年3月供用開始
- ・ 呉羽駅北口改札
2024年3月供用開始
- ・ 滑川駅エレベーター
2023年3月供用開始
- ・ 福岡駅エレベーター
2025年供用開始予定
- ・ 越中大門駅エレベーター
2023～2024年度 詳細設計



富山ー東富山間（旧富山操車場跡地周辺）

- ・ 2018年度～2019年度 詳細設計、
2019年度～2021年度 建設工事
- ・ 駅名を「新富山口駅」に決定（2021.2）
- ・ 2022年3月12日開業

■ マイレール意識の醸成

- ・会社名の公募(5,380件応募)、ロゴマークの作成
- ・ファンクラブ創設
- ・ウォーキングイベント、写真コンテストの開催
- ・マスコットキャラクターの制作、広報宣伝への活用
- ・関連グッズ(駅名標キーホルダー等)の企画・販売



マスコットキャラクター「あいの助」

あいの風とやま鉄道ファンクラブ

会員区分	年会費	サービス
①個人会員	① 1,000円	・会員証の発行 ・会報の発行 ・乗車特典(1日フリー乗車券) ・会員限定見学会(車両見学など)
②親子会員 (大人1人+子ども1人)	② 1,500円	
③法人会員 (1口以上)	③ 10,000円	
④駅舎利活用団体等 (ボランティア団体等)	④ 無料	・法人会員費より活動(美化活動、花壇整備等)に対し一部支援

《主な会員特典》

- ・オリジナルグッズの割引販売
- ・富岩運河水上ライン乗船券割引
- ・富山県文化施設の観覧料や県内プロスポーツチームの観戦料の割引
- ・「MAROOT・マリエとやま・とやマルシェ」の割引クーポン進呈など
- ・1日フリー乗車券の進呈
- ・法人名(団体名)のホームページ掲載
- ・年会費の口座振替を促進(特典内容の拡充)

会員数 (2024. 10月末現在)

個人会員	3,316人
親子会員	355人
法人会員	87社
計	3,758人・社

今後の取組み（新たな経営計画）

当社が、県民の皆様の大切な交通手段である鉄道線の安全で利便性の高い運行を将来にわたって継続していくため、今後の利用動向に大きく影響すると考えられる沿線人口の減少や少子・高齢化、新型コロナウイルス感染症がもたらす生活様式の変容や社会経済情勢の激変など、当社を取り巻く社会環境の変化を踏まえ、老朽化した施設・設備の更新や人材育成などの大きな課題に的確に対応していくことが必要です。

このため、安全性の確保を最優先に、利用実態に即した利便性の確保を図るとともに、地域の皆様をはじめ、ご利用者など多くの方に愛される鉄道を目指し、今後の基本方針や重点施策を明らかにし、当社の今後の羅針盤となる「あいの風とやま鉄道 第二次 経営計画」を策定します。

計画期間

- ・ 2021年度（令和3年度）～2030年度（令和12年度）＜10年間＞
- ・ 中間年の2025年度（令和7年度）に、社会経済情勢の変化等を踏まえ内容を見直し。



今後の利用者の見込み(将来需要予測)

- 今後の当社線の利用見込みを、利用実績を踏まえ、新型コロナウイルスや、沿線人口の推移、高校再編、新駅整備、運賃改定などによる影響も考慮して推計

(2020年を起点に、2021～2023、2025、2030、2040、2050年の利用者見込を推計)

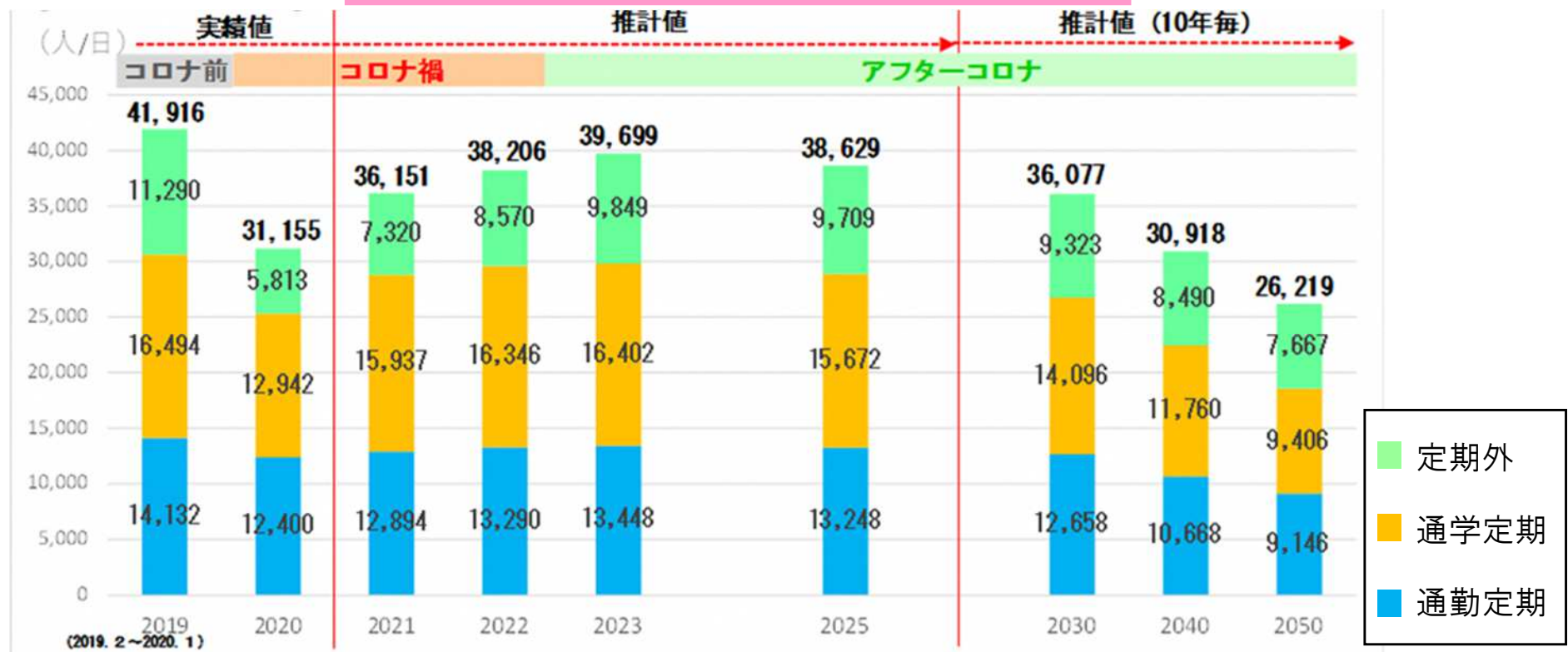
- 新富山口駅の設置効果などによる増加が見込まれる一方で、新型コロナウイルスや沿線人口減の影響により、1日当たりの利用者は、コロナ前(2019年※)の41,916人と比べて、

5年後の2025年には 38,629人 (2019年比▲3,287人、▲7.8%) に

10年後の2030年には 36,077人 (同 ▲5,839人、▲13.9%) に

※コロナによる影響を受ける前の2019.2～2020.1分

今後の利用見込み(将来需要予測)



■ 今後の取組み(重点施策)①

□ 今後の当社を取り巻く変化等を踏まえた課題に適切に対応していくための取組み（重点施策）を5つの柱に取りまとめました。

- ①安全性の確保 ②サービスの向上と利用実態に即した利便性の確保
③地域との連携 ④将来を支える人材の確保と育成 ⑤健全経営の実現

□ これらの施策の実施に向けて、行政や他交通事業者などの関係者と協議、連携を図りながら、社員一丸となって取り組んでまいります。

1. 安全性の確保

【安全管理体制の確立】

- ・業務での気づきを通した社員一人一人の基本動作の徹底
- ・PDCAサイクルによる継続的な改善・安全性の向上
- ・毎月24日「安全の日」の本社幹部による職場点検
- ・VR等を活用した研修など、人材育成の環境整備

【自然災害・異常時における対応能力の向上】

- ・危険個所の把握・工事の実施など、脆弱箇所解消の推進
- ・災害時や感染症流行時等に備えた実践的な訓練
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策の継続
- ・除雪車両導入・運行情報の速やか周知等、雪対策の充実
- ・案内放送の多言語化など、外国人利用者への情報提供

【施設・設備の適切な維持管理と計画的な投資】

- ・施設・設備の長寿命化の取組み、設備の計画的な更新
- ・法指定踏切の改良など、踏切事故の防止対策の推進
- ・光ケーブル化の推進などネットワーク網の強化
- ・施設・設備の更新における国補助の活用

2. サービスの向上と利用実態に即した利便性の確保

【利便性の高いダイヤ設定】

- ・利用者ニーズ・利用実態 ・他交通機関との乗継
- ・増車など列車混雑回避 ・北陸新幹線の敦賀延伸
- ・速達性 ・限られた車両の効率的な運用

【沿線住民に利用される環境の整備】

- ・行政等と連携した新駅や新改札口の整備
- ・バリアフリー対応型車両の導入、駅周辺のバリアフリー化と連携したエレベーター整備
- ・駐車場整備によるパーク＆ライドなど、駅へのアクセス性向上
- ・駅での案内や「あいトレ」などによる適時適切な情報提供
- ・自動券売機の機能向上、交通ICカード・デジタル乗車券の活用
- ・MaaS活用、他交通機関との企画切符による県内外の周遊性向上
- ・お客様の声に対する真摯な対応とサービスへの反映

【県外利用者等への対応、観光列車の乗車率向上対策】

- ・北陸新幹線敦賀延伸をにらんだ他の並行在来線会社との連携
- ・DXに対応した国内外の利用者のシームレスな県内移動の取組み
- ・サイクルトレインの定期運行等による新たな利用者の獲得
- ・観光列車のサービスの充実・他の観光列車との連携

■ 今後の取組み(重点施策)②

3. 地域との連携

【地域の活性化、当社線利用者の増加】

- ・行政等と連携した駅舎利活用の推進、駅周辺整備への協力
- ・運転免許返納者・中学生の運賃割引等、県民生活等の支援
- ・県内プロスポーツチームや公共施設等とのタイアップ
- ・MaaS等を活用した沿線店舗・イベント等とのタイアップ

【当社の「ファン」を増やす】

- ・会員との交流活動や、商工会議所・商工会等と連携したPRなど、ファンクラブの活性化と新たな会員の獲得
- ・地域イベントへの参画、富山アクセントによる駅名放送、駅管理協力団体との交流など、地元で愛される取組みの推進

【鉄道の理解を促進するための情報発信】

- ・障がい者や高齢の方への声かけ、駅・車内での乗車マナーUP啓発など、利用しやすい環境整備への情報発信の強化
- ・次世代利用者の児童等に公共交通に親しんでもらう取組み
- ・駅舎・車両等を活用したイベントや、マスコットキャラクターの活用、オリジナルグッズ製作など、企業ブランドの向上



マスコットキャラクター「あいの助」

4. 将来を支える人材の確保と育成

【安全・サービスを支える人材育成・確保】

- ・外部講師によるサービス研修、乗降介助サービス技術会得のための実践的研修
- ・振り返り研修や面談などを通じた、自ら学びチャレンジする意識の醸成
- ・キャリアパスの構築、若手・女性社員が活躍できる体制整備等による幹部社員養成

【働きやすい職場環境づくり】

- ・自主勉強会などを通じたチーム力の強化、報連相が活発な組織づくり
- ・社会・会社ルールの順守やハラスメントの防止など、コンプライアンスの徹底
- ・社員のライフステージに応じた就業条件の改善など、ワーク&ライフバランスの推進
- ・社員の安全で効率的な執務環境の整備

5. 健全経営の実現

【新たな収入の確保】

- ・新駅・新改札口整備など、周辺開発に応じた利用者の確保
- ・沿線の現場体験型イベントとの連携
- ・新幹線延伸などの新たな需要の取り込み
- ・駅等広告営業、グッズの販売強化

【費用増大の懸念への対応】

- ・不要施設・設備のスリム化、施設・車両の長寿命化
- ・環境保全・維持管理コスト等を最適化した施設等の計画的な更新
- ・DX活用による業務の効率化・省力化

【安定した経営基盤の確保】

- ・遊休土地・施設の有効活用や売却
- ・重点施策の毎年度の着実な実施
- ・安全対策等への投資や運賃水準の一定程度の抑制に必要な支援の働きかけ

■ 設備投資計画

- 当社線の施設設備の多くは、昭和40年代を中心に旧北陸本線の電化・複線化工事により完成したもので整備から50年以上経過し、今後、老朽化に伴う大規模修繕や更新が必要です。
- また、お客様に安全で快適にご利用いただくためには、自然災害の激甚化、高齢化やキャッシュレス化の進展、より安全で効率的なシステムへの高度化など、社会経済情勢の変化に対応していくための設備投資が必要です。
- 当社では、今後、こうした設備投資を計画的に実施することとしておりますが、10年間で約121億円の費用が必要であると見積もっており、財源の確保が必要です。

計画期間(10年間)の投資額・主な項目

	設備投資区分	設備投資額			主な設備投資項目
		前期 2021-2025年度	後期 2026-2030年度	計画期間計 2021-2030年度	
1	保安防災対策	1,963	1,280	3,243	・ 投排雪保守用車の新造 ・ 老朽消雪用井戸の掘替え ・ 長大橋りょうのペイント塗替え
2	安全・安定輸送対策	2,993	2,025	5,018	・ 新造車両（521系）の導入 ・ 列車運行のための各種システムの改修 ・ 通信の光ケーブル化 ・ 老朽設備（レール・踏切版等）の更新
3	利便性の向上対策	2,791	1,017	3,808	・ 駅エレベーター設置 ・ 券売機・IC関連機器の更新 ・ 老朽駅舎の改修
計		7,747	4,322	12,069	

■ 決算の推移

2019年度までの経営状況は、好調な利用等により当初計画を上回る運賃収入でしたが、2020年度は新型コロナ感染拡大により754百万円の経常赤字となるなど厳しい経営状況でした。しかし、2021年度以降は徐々に利用者数が回復し、2023年度の決算では経常損益で97百万円の黒字、最終利益は201百万円となりました。

収支（損益）の推移(2018～2023)

(単位：百万円)

区分	2018	2019	2020	2021	2022	2023
営業収益 ①	5,593	5,742	4,695	5,015	5,402	5,884
運賃収入	2,952	2,957	1,945	2,160	2,574	2,958
貨物線路使用料	1,922	2,070	2,052	2,151	2,075	2,150
その他	720	716	698	705	753	776
営業費 ②	5,742	5,780	5,488	5,527	5,634	5,918
人件費	1,920	1,937	1,826	1,786	1,763	1,789
運営経費	2,996	2,959	2,796	2,764	2,908	3,102
その他	826	885	866	978	963	1,027
営業損益 ③ (①－②)	▲ 148	▲ 38	▲ 793	▲ 512	▲ 232	▲ 34
営業外収益 ④	1,686	512	234	122	332	894
営業外費用 ⑤	1,712	619	195	97	276	762
経常損益 ⑥ (③＋④－⑤)	▲ 174	▲ 145	▲ 754	▲ 487	▲ 176	98
特別利益 ⑦	10,342	4,385	2,812	3,317	1,927	1,915
うち県経営安定基金(運営費)	284	140	325	409	17	0
特別損失 ⑧	10,026	4,198	2,260	2,801	1,706	1,666
税引前当期損益⑨ (⑥＋⑦－⑧)	141	42	▲ 202	29	44	347
法人税等 ⑩	134	41	6	23	33	146
当期利益 ⑨－⑩	7	0.3	▲ 208	6	11	201

■ 経営の安定化に向けて

当社の今後の経営は、運賃改定を実施しても依然として厳しいと見込まれますが、様々な対策を講じることで、利用ニーズに応じた安全運行を将来にわたって続けていくための基礎となる健全経営を続けてまいります。

□ 弊社における収支改善に向けた努力（重点施策の着実な推進）

- 利用促進策強化による運輸収入の増加や、広告・構内営業・グッズ販売強化による運輸外収入の増加、遊休土地・施設の有効活用や売却などによる収入の増加
- 経費節減などによる費用の縮減

□ 貨物線使用料の維持・充実の働きかけ

- 並行在来線である当社線の維持には、貨物線使用料の維持・充実が不可欠なため、他の並行在来線会社や関係団体、富山県などの並行在来線設置道県と連携した国への働きかけを継続

□ 行政からの支援の継続

- 乗継割引及びライナー便の継続や利用者の方の負担を軽減するための運賃値上幅の抑制に対する支援、運行に不可欠な車両や設備の更新と一定水準のサービス維持のための設備投資に対する支援を要請

※運行に必要な一般的な設備投資や維持修繕の費用は、運賃収入や貨物線の線路使用料等を財源に実施する一方で、社会経済情勢の変化に対応する設備投資で次に該当するものへの支援を要請するもの

- ①線路・沿線の災害対策や運行ダイヤの充実に必要な車両新造など、設備投資の効果が全線にわたるもの
- ②バリアフリー化など、全線を通して一定の設備水準を確保すべきもの
- ③キャッシュレス化や運行・旅客システムへの投資など、機能向上により利便性の充実や運行の効率化が図られるもの

・ 乗継割引・ライナー便の運行 約 6.3億円

・ 運賃抑制 約10.3億円

・ 設備投資 約47.4億円(前期:25.9億円 後期:21.5億円)

前期(2021~2025年度) 34億円

後期(2026~2030年度) 30億円

計画期間(10年)
計 64.0億円